

## 製品安全データシート

作成日：2008年10月01日

改定日：2010年06月01日

改定日：2013年09月09日

改訂日：2022年02月08日

## 【化学物質等及び会社情報】

製 品 名 (化学名、商品名等) KTS-25  
会 社 名 吉野石膏販売株式会社  
住 所 東京都豊島区巢鴨1丁目8番3号  
担 当 部 門 カルゲン課  
電 話 番 号 03-3994-6570  
F A X 番 号 03-3944-6577  
推奨用途及び使用上の条件：型材用石膏

---

## 【危険有害物の要約】

最重要危険有害性：通常の取扱いでは有害性はない。

特定の危険有害性：知見なし。

GHS 分類

物理化学的危険性：区分外又は、分類対象外

健康に対する有害性：区分外又は、分類対象外

環境に対する有害性：区分外又は、分類対象外

GHS ラベル要素

絵 表 示：非該当

注 意 喚 起 語：非該当

危 険 有 害 性 情 報：非該当

## 【組織及び成分情報】

単一製品・混合物の区別 単一製品

化 学 名 硫酸カルシウム (半水石膏)

成 分 及 び 含 有 量 硫酸カルシウム 100%

化 学 式 又 は 構 造 式  $\text{CaSO}_4 \cdot 1/2\text{H}_2\text{O}$ 官 報 公 示 整 理 番 号 (化審法) 1-193  
(安衛法) 1-193

CAS No. 10034-76-1

---

**【応急措置】**

目に入った場合：清浄な流水で速やかに水洗、コンタクトレンズを着用している場合は外す事。  
必要なら医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：石鹼を使って洗った後、水で流すこと。必要なら医師の診断を受ける。

吸入した場合：水でうがいする。空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
必要なら医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：多量の水を飲み吐き出す。必要なら医師の診断を受ける。

**【火災時の措置】**

消火剤：周辺の状況に適した水噴霧・粉末消火剤・泡消火剤を使用する。

特有の危険有害性：燃焼により有毒ガスを発生する恐れがある。

特定の消火方法：関係者以外は安全な場所に退去させる。安全に行える限り火災場所から燃焼源を搬出する。

消火を行う者の保護：適切な保護具（保護手袋、保護衣、保護メガネ等）を着用する。

---

**【漏出時の措置】**

人体に対する注意事項：関係者以外の立ち入りを禁止する。

密閉された場所の場合は換気を行う。

保護具及び緊急時措置：作業の際には必ず保護手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。また、漏出物を河川、下水に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：漏出したものはスコップ、ほうき等で集め、袋等の空容器に回収する。

---

**【取り扱い及び保管上の注意】**

技術的対策：目、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具（防じんマスク、防じんメガネ、手袋、長靴等）着用する。

局所排気・全体排気等：屋内で取り扱う場合は換気に注意する。

安全取り扱い注意事項：取扱い後は、顔、手、口等を水洗する。  
粉塵を発生させないようにする。

保管

安全な保管場所：変質を防止するため、水濡れ、湿気を避ける。

高温下、高湿下の長時間放置は避ける。

酸性の製品との接触を避ける。

安全な容器包装材料：湿気を避けるため、密閉容器に入れる。

**【暴露防止及び保護措置】**

設 備 対 策：屋内等通気の悪い場所では、換気及び局所集塵を行う。また、取り扱い場所の近くに目や身体を洗浄するための設備（洗身シャワー、洗顔、洗眼、手洗い場）等を設置する。

管 理 濃 度：未設定

許 容 濃 度：ACGIH（2017年度版）：TLV-TWA 10 mg/m<sup>3</sup>

日本産業衛生学会（2017年度版）：未設定

保 護 具

呼 吸 用 保 護 具：防塵マスクや呼吸器保護具等を着用すること。

目 の 保 護 具：保護メガネやゴーグルなどを使用すること。

手 の 保 護 具：保護手袋を使用すること。

皮膚及び身体の保護具：保護衣、保護面等を使用すること。

衛 生 対 策：取り扱い後は手を良く洗うこと。

**【物理/化学的性質】**

物 理 的 形 状 及 び 色：白色微粉末

臭 い：無臭

比 重 又 は 嵩 比 重：真比重 2.63g/cm<sup>3</sup>

平 均 粒 径：20 μm

P H：中性

溶 解 度：水に微溶

融 点：文献に知見なし。

沸 点：文献に知見なし。

引 火 点：なし

発 火 点：なし

爆 発 特 性：なし

**【安定性及び反応性】**

科 学 的 安 定 性：通常の取り扱いでは安定であって、危険な分解や重合は生じない。

反 応 性：吸湿性あり。水和反応し凝固する。

避 け る べ き 条 件：混触危険物質との接触 加熱

混 触 危 険 物 質：強い還元剤

危 険 有 害 な 分 解 生 成 物：過熱による分解で酸化カルシウム、二酸化硫黄が生成

**【有害性情報】**

急 性 毒 性

経 口：区分外（ラット LD50 として >2000 mg/kg

- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性：区分外（刺激反応が見られなかったとの報告がある。）
- 目に対する重篤な損傷性または目刺激性：未分類（記載すべきデータはない。）
- 呼吸器感作性：未分類（記載すべきデータはない。）
- 感皮膚感作性：未分類（記載すべきデータはない。）
- 生殖細胞変異原性：未分類（記載すべきデータはない。）
- 発ガ ン 性：未分類（記載すべきデータはない。）
- 特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分外（区分 2 と同レベルの経口投与で異常が認められていないとの報告がある）
- 特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分外（区分 2 と同レベルの試験で重大な毒性影響が認められていないとの報告がある）
- 吸引性呼吸器有害性：未分類（記載すべきデータはない。）

### 【環境影響情報】

- 生 体 毒 性：データなし
- 残 留 性 ・ 分 解 性：データなし
- 生 体 蓄 積 性：データなし
- 土 壌 中 の 移 動 性：データなし
- オゾン層への有毒性：データなし

### 【廃棄上の注意】

- 残 余 廃 棄 物：関連法規制、地方自治体の基準に従い廃棄する。  
許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。  
排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように注意する。
- 汚 染 容 器 及 び 包 材：関連法規制、地方自治体の基準に従い廃棄する。  
出来るだけ内容物を除去して廃棄する。

### 【輸送上の注意】

#### 国際規制

国 連 分 類：該当しない

国 連 番 号：該当しない

#### 国内規制

陸 上 規 制：非危険物のため、特段の規制なし

海 上 規 制：非危険物のため、特段の規制なし

航 空 規 制：非危険物のため、特段の規制なし

特 別 安 全 対 策：粉塵の立たない方法で輸送する  
破袋、損傷等による容器からの漏れ等の防止を行う

### 【適用法令】

労働安全衛生法：該当しない  
毒性及び劇物取締法：該当しない  
消 防 法：該当しない  
化学物質管理促進法：該当しない

---

### 適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制について調査をすることは、当社としては行いかねますので、この問題は貴社の責任で処理願います。

この物質に関する貴国又は地方の規制を遵守してください。

### 【その他の情報】

- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 HP：GHS 分類結果
- 2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)
- 中央労働災害防止協会 HP：安全衛生情報センターGHS モデル MSDS 情報
- JIS Z7250 (2014) 化学物質安全データシート (MSDS) ー第一部：内容及び項目の順序
- JIS Z7253 (2012) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
- 2017 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生協会)
- (一社) 日本化学工業協会
- 原料メーカーSDS

### 責任の限定について：

本文章の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、製品規格、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。推奨される労働衛生や安全取扱い方法は、一般的に適用可能と考えますが、実際にご使用になる環境において、これらが適切であるかどうか検討し、判断していただくようお願いいたします。

本品は型材用向けに開発、製造されたものです。記載事項は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合にはこの点のご配慮をお願いします。

記載内容の問い合わせ先：吉野石膏販売株式会社 カルゲン課 TEL03-3994-6570